

令和8年(2026年)7月1日以降



Japan. Endless Discovery.

国際観光旅客税の税率が 3,000円に引き上げられます。

旅客税の税収は3つの分野に活用されます。

①ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備



混雑対策
(パークアンドライドの実証実験)



マナー違反対策
(スマートごみ箱)

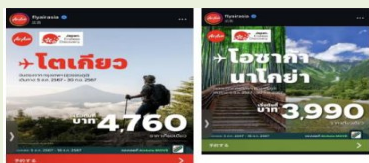


出入国円滑化
(自動手荷物預入機)



出入国円滑化
(ウォークスルーゲート)

②日本の多様な魅力に関する情報の入手の容易化



日本各地の魅力を発信する
航空会社との共同広告



JNTO(日本政府観光局)特設
ページによる園芸博の情報発信



現地消費者向けの
旅行博出展・イベント開催

③地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等



歴史的資源の改修、無電柱化・
美装化等による街並み整備



地域にゆかりのある文化財等の
展示施設の整備



登山道等の整備



重要文化財の公開
(旧三笠ホテル)

※上記は令和8年度予算での活用事例(イメージ)

国際観光旅客税(制度概要)

制度の詳細につきましては、国税庁HPをご確認ください。

税率

日本からの出国1回につき、3,000円(令和8年7月1日以降)

※令和8年6月30日までに発券された一定の航空券等で出国する場合には、引上げ前の税率(1,000円)が適用される経過措置があります。

※2歳未満の乳幼児等は非課税です。

納付方法

原則として、船舶会社又は航空会社が、チケット代金に上乗せする等の方法で、日本から出国する方から「国際観光旅客税」を徴収し、国に納付します。



観光庁